

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第163号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年6月10日（水） 14時50分ごろ	
発生場所	愛知県尾張大磯灯標から真方位260° 1,250m付近 (概位 北緯34° 42.7′ 東経137° 00.4′)	
事故等調査の経過	平成21年6月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 モーターボート ^{エッジウォーター} Edgewater、4.8トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 240-58319愛知、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船底中央部擦過傷、両舷ドライブシャフト折損、両舷スクリュープロペラ曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗船し、船首約0.5m、船尾約0.8mの喫水で、船舶所有者の操船により魚釣りをを行い、昼食を取るため愛知県日間賀島に移動した。</p> <p>船舶所有者は、昼食時、他の同乗者とともに飲酒したので、係留地に帰航するため、操船を船長と交替した。</p> <p>船長は、日間賀島漁港北方海域には、浅瀬があるのを認識していたが、以前に聞いた「外に大きく回れば安全に航行できる。」との情報と、船舶所有者が隣に座っていたことから、何かあれば助言してもらえらるだろうと思い、海図等で干出岩の位置や水深を確認せずに出航した。</p> <p>船長は、出航して間もなく、干出岩が点在する海域に漁船2隻を認めたので、外に大きく回らなくても大丈夫だと思い、日間賀島漁港北方海域を約067°の針路及び約5ノットの速力で東進中、平成21年6月10日14時50分ごろ、船底に衝撃を感じた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南、風力 2</p> <p>海象：波高 約50cm、潮汐 上げ潮初期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>船長は、日間賀島漁港北方海域を東進中、同海域には浅瀬があることを認識していたが、「外に大きく回れば安全に航行できる。」と以前に聞いていたこと、及び隣に座っていた船舶所有者から助言が得られると期待していたことから、海図等で干出岩や水深を確認しなかったものと考えられる。</p> <p>本船は、ワシドと称する干出岩を乗り切った可</p>

	能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が日間賀島漁港北方海域を東進中、船長が海図等で干出岩や水深の確認を行わなかったため、干出岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。